



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222)7207 番

96.1.31 No. 4335



## 「何でも要求できる強い支部を」 ―オ九回いすみ支部大会(1/2)―

一月二二日、いすみ支部の第九回定期大会が開催された。大会には、支部組合員全員が結集。五十嵐副支部長による開会宣言に続き、大会の冒頭、あいさつにたった田中支部長は、「一九五年は阪神大震災で明け、オウムで終わる激動の年だった。組合的にも大変な年で、署名運動をはじめあれほど懸命に闘ったにもかかわらず、勝浦運転区が廃止された。しかし私たちは、水野さん、中村さんの勝利をかちとり、七十二時間ストを貫徹し、

その最中で鴨川支部の結成をかちとった。そういう意味からすれば、動力千葉は、その辺にある組合とは一味も二味も違う組合だと言えるのではないか。いすみ支部としても、会社側に何でも言える、要求できる強い支部をめざしたい」と力づくよく提起した。また、来賓には、水野・中村両議員、本部田中書記長が出席、いすみ支部の仲間たちとともに議論に参加した。

質疑では、要員上の問題、今後のいすみ鉄道出向の見通し等について意見がだされ、最後に方針案を満場一致で採択し、新役員を選出して、大成功のうちに大会は終了した。

大会終了後は、勝浦運転区廃止に伴っていすみ鉄道に出向することになった三名の仲間の歓迎会と新年会を兼ねて和気あいあいのうちに懇親会が開かれ、一層の団結を誓いあった。

### 【九五年度新役員】

支部長	田中廣 胖
副支部長	五十嵐 浩 吉
書記長	君塚 時 雄

## 「全支部の先頭で闘うぞ！」

―オ16回銚子支部大会(1/26)―



一月二六日、一五時より銚子市コミュニティセンターに於いて、本部より中野委員長を迎え、第一六回銚子支部定期大会が開催されました。

議長に加瀬君を選出し、錦織支部長より挨拶を受けました。

昨年一月一七日の阪神大震災へのカンパ第一次分五万円などが集められ、本部を通して現地に送られた事、昨年四月の中江・水野選挙に勝利した事などが報告され、分割・民営化一〇年目の今年がタイムリミットであり、運輸省も「特命チーム」が組織されている。なんとしても西本君、伊藤君、多田君の原職復帰と、営業に強制配転された一〇名の士職復帰に向けた闘いを取り組もうと提起しました。

質疑のなかでは、運転区で車掌からの運転士見習いが毎年養成されている。駅へ強制配転された組合員の今後の見通しなど活発な意見が出され、時間を大幅に過ぎる大会となりました。

また、大会後の新年会では、昨年いっぱい退職した崎山君の送別会も行なわれました。銚子支部も第二波ストで西本君、二度の解雇を受けた伊藤君・多田君を職場に復帰させる為、あらゆる戦術でこれからも全支部の最先頭で頑張る決意です。われわれ銚子支部は、「ワークシエアリング」「軍需生産」を叫ぶJR総連革マルを許さず、「大失業時代」と対決し、JR総連解体一掃へ闘います。

また同日、一三時より第一五回銚子支部乗務員分科会定期総会も開催され、ダイ改の問題点等に対する調査活動を行なうことなどが決定されました。

### 【九五年度新役員】

支部長	錦織 芳 雄
副支部長	越川 幸 夫
書記長	鈴木 貴 雅
執行委員	郡 雅 巳 瀧 川 日出男 関 根 一 美 志 賀 嘉 一 夫 川 越 一 夫
会計監査	本 井 照 夫 石 井 香

### オ35回定期委員会

2月20日(火) 13時

